

中山道後期第6回区間記録

2013年10月8日～9日（1泊2日）

恵那駅→御嵩駅（大井宿→大湫(材行)宿→細久手宿→御嶽宿）

世話人 坂本 研一（昭36 工）

立松 修（昭39 経）（記）

1-1：10月8日（火）曇り時に小雨 歩行距離14.3km 39人

1-2：行動記録

恵那駅 9:55→十三峠入口 10:38→12:08 四谷集会場（昼食）13:15→深萱公園
13:51→大湫(材行)郵便局 16:25→二つ岩 16:38（バス）⇒17:10 夕食会場「いち
川」（バス）⇒19:30 ルートイン恵那（泊）

1-3：区間概要・エピソード

- 当初の参加申し込みは46名でしたが台風接近もあり又体調不良などによるキャンセルが7名あって、初日参加者は前泊者を含めて39名で恵那駅を出発しました。
- 今回は「十三峠おまけに7つ」と言われる中山道の難所十三峠を越え、美濃路の最高所の琵琶峠(558m)を越えるなど、平地が殆ど無く上り下りの繰り返しが多く、坂道ばかりで足腰にかかる負担が大きく体力勝負と最初の案内からお知らせした。
- 一方で鉄道・国道から離れた山道で深い森の中、石畳の道、草を踏みしめる野原の道や砂利道など人里離れた風情ある景色が楽しめるこれぞ中山道と言うべき道である。
- 午前中は快調に歩き、西行が庵を結び湧き出す水で墨を磨った硯水や、西行が死後葬るよう言い残した場所にある塚、皇女和宮降嫁の折小休止のために御殿を建てた場所などを見物しつつ昼食場所にほぼ予定時刻に到着。豪華弁当なれど配達が遅れたので食後休憩時間を短縮して出発する。
- 午後坂の連続、登ったら降り、降りたら登る。「この坂は何番目」と世話人へ質問が何度も出る。「この坂を降りたら次が最後の登り」と言いつつ又同じような会話を続けて、遂に世話人の説明が信用されなくなる。
- 坂の連続で後半は一つの登り毎に最後尾を待つことが多くなって次第に予定時間より遅れる。大湫(材行)宿に到着した時は遂に1時間遅れとなり、50分予定した大湫見物が出来なくなってしまい楽しみが無くなってしまった。ゴールの二つ岩では15遅れで到着。待っていたバスで先ずルートイン恵那でリュックを下ろし、恵那市街まで同じバスで移動して夕食会場へ。
- 前回9月に昼食をした料亭「いち川」でミニ懐石膳で宴会。3代そろった女将のもてなしで一日の疲れを忘れる。手配のバスでホテルへ投宿。

2-1：10月9日（水）台風24号接近、雨時々曇り、時に強雨

歩行距離19.6km 30人

2-2：行動記録

ルートイン恵那 7:50(バス)⇒8:35 二つ岩 8:45→琵琶峠 9:15→弁天池 10:04

→10:50 細久手（昼食） 11:45→13:05 津橋トイレ 13:25→耳神社 14:35→和泉式部廟所 15:09→15:48 御嵩駅

2-3 : 区間概要・エピソード

- 前日夕食後、本日朝食前に幹事・世話人4人で催行可否を協議のうえ、実行することとし、台風の影響で風雨が強くなって危険となる恐れもあり、参加希望は自己責任とすることを説明した結果、8名が参加されず30人の参加となった。
- 二つ岩で体操をして琵琶峠を一気に登る。石畳の道は整備が行き届き上り下り730mはとても気持ちが良い。坂を下った西登り口辺りから雨降り始める。犬の訓練所を過ぎ弁天池で休憩。池の中央の弁天堂にお参りする。
- 細久手宿に若干早く到着、公民館は大黒屋のご主人が鍵を開けていてくれる。すぐに昼食が配達される。尾張藩本陣だった大黒屋の見学は残念ながら許されないのも、雨でもあり、早めに出発する。
- 昨日と同様に坂道を下り、登り又下り登る。津橋のトイレで若干休憩。道中一里塚多く、2日間で7箇所もあり、いずれも左右2基が現存・復元されている。又茶屋跡も沢山あり、それぞれ興味ある名前が記されている：びやいと茶屋（枇杷湯糖茶屋）
- 雨が止んで「右 MARIA 像」の石碑あり、脇道に入って隠れキリシタンにまつわる遺構の近くのトイレで休憩。一部のメンバーは立ち寄らず石畳を真っ直ぐ降りて他のメンバーが合流するを待つ。
- 耳の病気にご利益のあるという珍しい耳神社を過ぎて最後の急坂「牛の鼻欠け坂」を降りて平地となる。田や畑の間を通過して国道21号に出て和泉式部廟所で最後の休憩する。又雨が降り出す。定刻より約23分アヘッドしており、予定より前の電車に乗れる可能性があるためと道を急ぐ。
- 御嵩駅へ定刻より34分早い15:48に着く。次の区間の世話人への旗の受け渡し完了する。予定した電車より1時間早く御嵩駅発の名鉄可児線に乗る事ができた。
- 名鉄電車の乗り換え駅の新可児駅、犬山駅での駅職員の親切な案内があって、皆気分良く名鉄名古屋駅に着く。新幹線は都合よく17:24発ひかりで小田原に直行し、大船には予定より2時間早く到着した。

3、まとめ

台風の接近があって催行が危ぶまれましたが、皆様のご協力そして相互サポートと幸運にも恵まれて難所を無事完歩できました。誠にありがとうございました。

○初日は坂の連続で後半には疲れが蓄積してスリップされたり、スピードが落ちて予定よりかなり遅れましたが、事故無く夕食は楽しい宴会が出来ました。

○2日目は参加を見送られました方々の勇気ある判断があり、参加者は少なくなりましたが、その分気を引き締めて休憩もそこそこに雨の中を歩きました。長い距離と坂の連続でしたが安全を心掛け無事ゴールしました。

これまで培った淡青会の皆さんの実力が発揮された2日間でした。